

4 企業会計決算の状況

県が独立採算性を原則とする企業的色彩の強い事業を行う際に、法律や条例によって設置するもので、地方公営企業法の全部又は一部の適用を受ける公営企業の会計をいいます。

企業会計は、公共の福祉を目的とするとともに、企業の経済性を発揮することも求められており、その経理については、地方公営企業法の定めるところによります。

この会計方式は、一般のいわゆる官公庁会計が現金主義により経理されるのに対し、発生主義に基づく複式簿記方式により経理される点で大きく異なっています。

三重県では、公共の福祉を増進するため、水道事業、工業用水道事業、電気事業及び病院事業の4事業の経営を行っていますので、以下、それぞれの企業会計ごとに、その決算状況を説明します。

1 水道事業の概況

営業関係では、南勢志摩水道用水供給事業（志摩系：給水能力 41,000 m^3 /日、南勢系：給水能力 128,150 m^3 /日）、北中勢水道用水供給事業（北勢系木曾川水系：給水能力 80,300 m^3 /日、北勢系三重水系：給水能力 51,000 m^3 /日、北勢系長良川水系：給水能力 6,400 m^3 /日、中勢系雲出川水系：給水能力 81,416 m^3 /日、中勢系長良川水系：給水能力 58,800 m^3 /日）はともに順調な給水を行い、それぞれ地域住民の生活環境の向上に寄与しています。

平成13年度の営業成績は、表14、図21及び巻末資料23のとおり、事業収益は、13,186,470千円（対前年度比100.8%）で、内訳は、営業収益11,850,752千円（対前年度比100.0%）及び営業外収益1,335,718千円（対前年度比108.4%）であり、また、事業費用は12,826,074千円（対前年度比100.4%）で、内訳は、営業費用8,048,650千円（対前年度比100.8%）及び営業外費用4,777,424千円（対前年度比99.6%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額360,396千円（対前年度比119.8%）が当年度の純利益となりました。また、バランスシート（貸借対照表）については、図22及び巻末資料23をご覧ください。

なお、事業収益と事業費用の年度別の推移については、図23及び巻末資料24をご覧ください。

一方、建設事業は平成10年度から北中勢水道用水供給事業（北勢第2次拡張長良川水系、総事業費37,410,000千円、給水能力47,600 m^3 /日）及び伊賀水道用水供給事業（総事業費36,100,000千円、給水能力48,500 m^3 /日）の建設に着手し、北中勢水道用水供給事業では、平成13年度から一部給水（給水能力6,400 m^3 /日）を開始するとともに、送水管の布設工事及び調整池築造工事等を実行し、伊賀水道用水供給事業では、導・送水管工事等を実行しました。

表14 平成13年度損益計算書 (平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位：千円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	8,048,650	営業収益	11,850,752
原水及び浄水費	2,569,699	給水収益	11,848,248
配水費	583,605	その他営業収益	2,504
業務費	464,634		
総係費	445,092		
減価償却費	3,921,199		
資産減耗費	64,421		
営業外費用	4,777,424	営業外収益	1,335,718
支払利息・企業債取扱諸費	4,549,886	受取利息	7,043
受託工事費	224,322	他会計補助金	1,103,054
雑支出	3,216	受託工事収益	224,322
		雑収益	1,299
当年度費用合計	12,826,074		
当年度純利益	360,396		
合 計	13,186,470	合 計	13,186,470

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

図21 平成13年度損益計算書<P/L> (平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位：千円、%〔構成比〕)

借 方	貸 方
営業費用 8,048,650 (61.1%)	営業収益 11,850,752 (89.9%)
営業外費用 4,777,424 (36.2%)	
当年度純利益 360,396(2.7%)	営業外収益 1,335,718(10.1%)

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

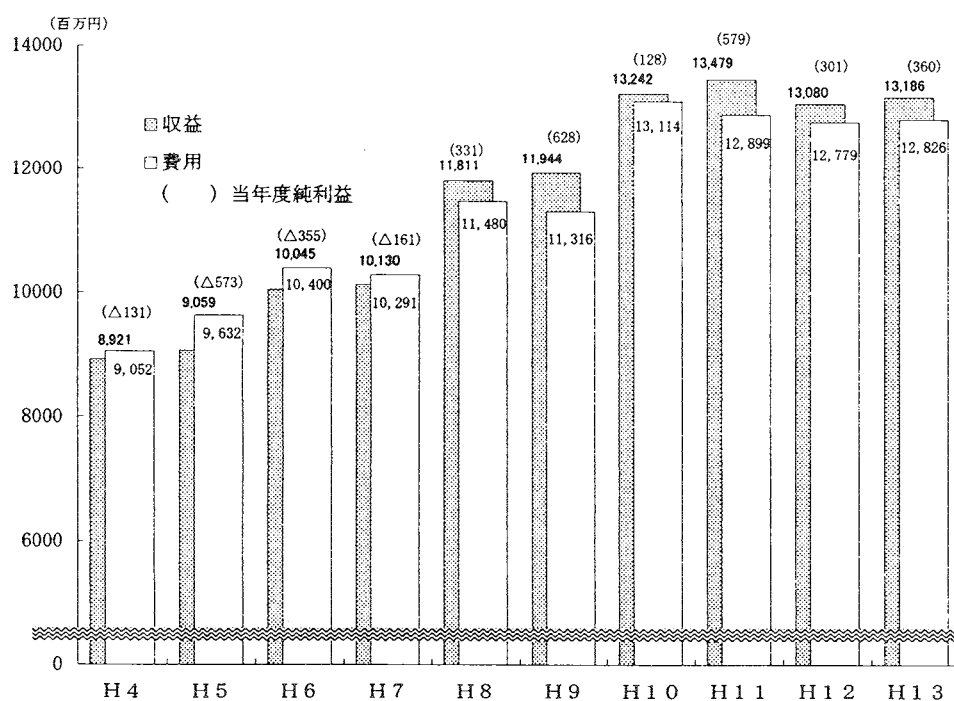
図22 貸借対照表<B/S> (平成14年3月31日現在)

(単位：千円、%〔構成比〕)

借方	貸方
固定資産 184,096,866 (95.2%)	固定負債 31,276,872(16.2%)
	流動負債 539,028(0.3%)
流動資産 9,326,623(4.8%)	資本金 115,100,499(59.5%)
	剰余金 46,507,090(24.0%)
	資本剰余金 46,113,635 利益剰余金 363,455

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

図23 年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため差引が合わない場合があります。)

2 工業用水道事業の概況

営業関係では、北伊勢工業用水道事業（契約水量 791,940m³/日）、多度工業用水道事業（契約水量 10,000m³/日）、中伊勢工業用水道事業（契約水量 24,350m³/日）、松阪工業用水道事業（契約水量 38,500m³/日）の4事業を運営し、県内企業の生産活動における水需要に応えるため、平成13年度においては102工場に対し、延べ242,518,846m³の工場用水を供給しました。

平成13年度の営業成績は、表15、図24及び巻末資料23のとおり、事業収益は、6,932,845千円（対前年度比80.4%）で、内訳は、営業収益6,870,131千円（対前年度比97.1%）及び営業外収益11,980千円（対前年度比0.8%）及び特別利益50,734千円（対前年度比814.3%）であり、また、事業費用は6,029,487千円（対前年度比78.7%）で、内訳は、営業費用4,836,953千円（対前年度比101.5%）及び営業外費用1,192,534千円（対前年度比41.2%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額903,358千円（対前年度比93.3%）が当年度の純利益となりました。また、バランスシートについては、図25及び巻末資料23をご覧ください。

なお、事業収益と事業費用の年度別の推移については、図26及び巻末資料24をご覧ください。

一方、改良事業については、国庫補助対象事業として北伊勢工業用水道改良事業を実施し、配水管の布設替工事等を執行しました。

表15 平成13年度損益計算書（平成13年4月1日～平成14年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	4,836,953	営業収益	6,870,131
原水及び浄水費	1,610,988	給水収益	6,278,200
配水費	297,333	その他営業収益	591,931
業務費	299,405		
総係費	493,066		
減価償却費	2,091,216		
資産減耗費	38,947		
その他営業費用	5,998		
営業外費用	1,192,534	営業外収益	11,980
支払利息・企業債取扱諸費	1,190,221	受取利息	6,932
雑支出	2,313	雑収益	5,048
当年度費用合計	6,029,487	特別利益	50,734
当年度純利益	903,358	固定資産売却益	50,734
合 計	6,932,845	合 計	6,932,845

図24 平成13年度損益計算書<P/L> (平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位：千円、%〔構成比〕)

借方	貸方
営業費用 4,836,953 (69.8%)	営業収益 6,870,131(99.1%)
営業外費用 1,192,534(17.2%)	営業外収益 11,980(0.2%)
当年度純利益 663,358(9.7%)	特別利益 50,734(0.7%)

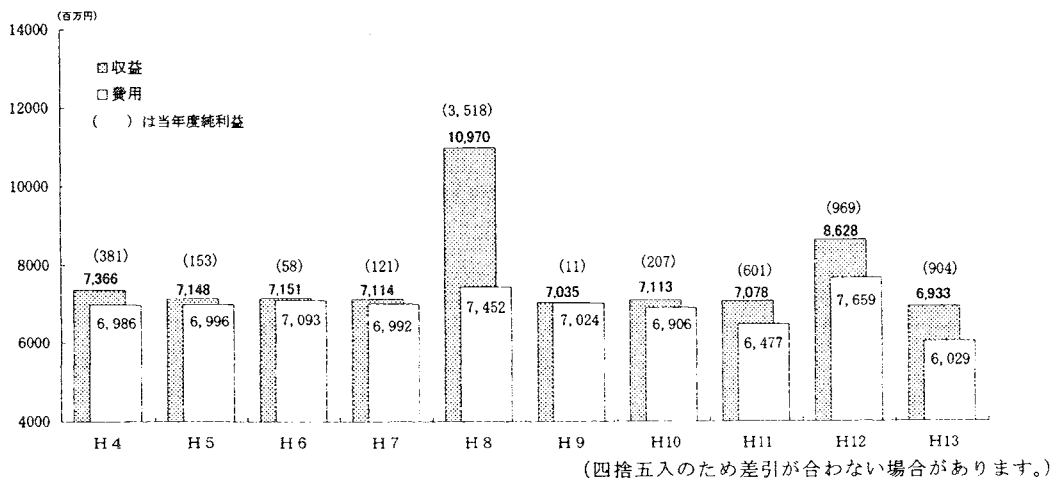
(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

図25 貸借対照表<B/S> (平成14年3月31日現在)

(単位：千円、%〔構成比〕)

借方	貸方
固定資産 124,093,913 (95.8%)	固定負債 21,379,583(16.5%)
流動資産 5,423,205(4.2%)	流動負債 1,672,729(1.3%)
	資本金 66,148,113(51.1%)
	剰余金 40,316,693(31.1%)
	資本剰余金 39,405,869
	利益剰余金 910,824

図26 年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため差引が合わない場合があります。)

3 電気事業の概況

営業関係では、宮川第一、宮川第二、宮川第三、長、三瀬谷、青蓮寺、大和谷、蓮、青田及び比奈知の10発電所（最大出力97,800kw）の発電量は、目標電力量348,059,000kwhに対し、供給電力量300,683,760kwh（86.4%）となりました。

平成13年度の営業成績は、表16、図27及び巻末資料23のとおり、事業収益は、5,587,680千円（対前年度比156.1%）で、内訳は、営業収益3,057,041千円（対前年度比95.3%）、財務収益20,584千円（対前年度比51.2%）及び営業外収益2,510,055千円（対前年度比790.0%）であり、事業費用は、5,350,756千円（対前年度比173.4%）で、内訳は、営業費用2,355,228千円（対前年度比104.5%）、財務費用484,923千円（対前年度比94.1%）及び営業外費用2,510,605千円（対前年度比790.0%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額236,924千円（対前年度比48.0%）が当年度の純利益となりました。また、バランスシートについては、図28及び巻末資料23をご覧ください。

なお、事業収益と事業費用の年度別の推移については、図29及び巻末資料24をご覧ください。

一方、建設事業としてRDF焼却・発電施設整備事業（総事業費9,285,710千円・最大出力12,050kW）は、三重県が廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく一般廃棄物処理施設の設置許可を得たことを受けて、現地工事に着手しました。

また、平成9年度からの継続事業である川上発電所建設事業（総事業費1,705,698千円・最大出力1,200kW）は、ダム事業費負担金等を執行しました。

表16 平成13年度損益計算書（平成13年4月1日～平成14年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	2,355,228	営業収益	3,057,041
宮川第一水力発電費	191,811	電力料	3,050,480
宮川第二水力発電費	473,679	その他営業収益	6,561
宮川第三水力発電費	92,207		
長水力発電費	37,115		
三瀬谷水力発電費	386,218		
大杉貯水池費	184,747		
青蓮寺水力発電費	33,035		
大和谷水力発電費	174,329		
蓮水力発電費	131,987		
青田水力発電費	128,709		
比奈知水力発電費	68,065		
一般管理費	453,326		
財務費用	484,923	財務収益	20,584
支払利息・企業債取扱諸費	484,923	受取利息	20,584
営業外費用	2,510,605	営業外収益	2,510,055
受託工事費	2,506,588	受託工事収益	2,506,588
雑支出	4,017	雑収益	3,467
当年度費用合計	5,350,756		
当年度純利益	236,924		
合 計	5,587,680	合 計	5,587,680

（四捨五入のため合計に合わない場合があります。）

図27 平成13年度損益計算書<P/L> (平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位：千円)

借方	貸方
営業費用 2,355,228 (42.2%)	営業収益 3,057,041 (54.7%)
財務費用 484,923 (8.7%)	財務収益 20,584 (0.4%)
営業外費用 2,510,605 (44.9%)	営業外収益 2,510,055 (44.9%)
当年度純利益 236,924 (4.2%)	

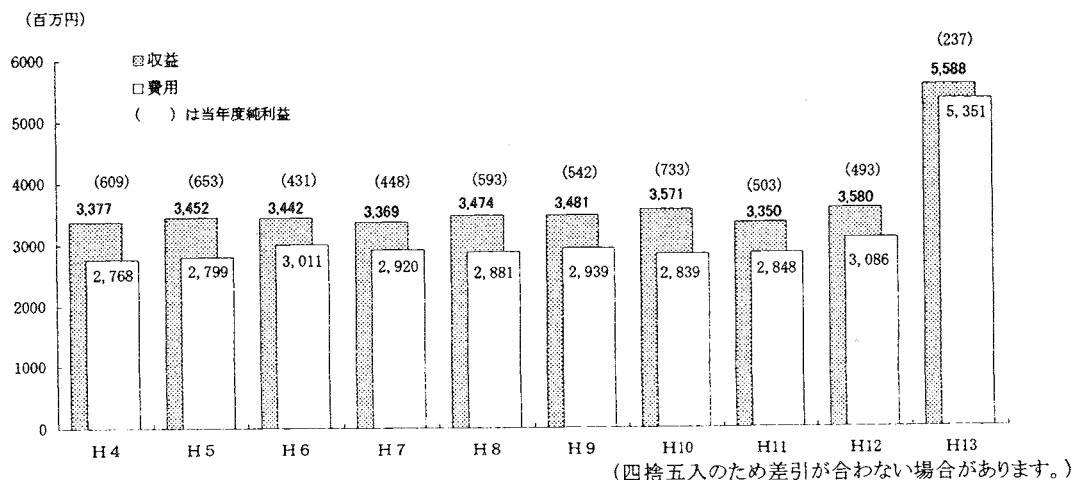
(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

図28 貸借対照表<B/S> (平成14年3月31日現在) (単位：千円)

借方	貸方
固定資産 19,951,996 (82.0%)	固定負債 390,820 (1.6%)
流動資産 4,384,072 (18.0%)	流動負債 498,264 (2.0%)
	資本金 20,086,668 (82.6%)
	剰余金 3,360,316 (13.8%)
	資本剰余金 2,330,778
	利益剰余金 1,029,538

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

図29 年度別の総収益・総費用の推移



4 病院事業の概況

三重県病院事業は、総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営し、県民の医療需要に的確に 대응するため、医療体制、施設・設備の充実などを図り、医療水準の向上に努めております。平成13年度も、「三重県病院事業経営健全化計画」（平成9年度策定）及び「三重県病院事業経営健全化計画推進プラン」に基づき、良質で満足度の高い医療サービスを提供するため、県民に信頼される病院づくりを推進しました。

平成13年度における患者の利用状況は、入院患者が延べ410,310人（1日平均1,124.1人）、外来患者が延べ521,058人（1日平均2,126.8人）で、前年度に比べ入院患者は延べ15,694人の増加、外来患者は延べ19,753人の減少となりました。

平成13年度の営業成績は、表17、図30及び巻末資料23のとおり、医業収益は、149億1,759万8千円で、医業費用は、171億53万7千円で、差引きした医業損失は21億8,293万9千円となりました。

これに、他会計補助金等の医業外収益36億1,159万5千円と企業債利息等の医業外費用13億6,308万8千円を加減いたしました経常利益は、6,556万8千円となりました。また、特別利益として21,406千円を計上しました。

以上の結果、経営収支は、総収益が185億5,059万9千円、総費用が184億6,362万5千円で、当年度純利益は、8,697万4千円となり、前年度に比べ9億2,343万円の増益となりました。また、バランスシートについては、図31及び巻末資料23をご覧ください。

なお、医業収益と医業費用の年度別の推移については、図32及び巻末資料24をご覧ください。

また、設備等の整備は、診療機能の充実・強化を図るため、高度医療機器等を導入し、4病院で総額3億4,594万1千円を執行しました。

表17 平成13年度損益計算書

(単位：千円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
医業費用	17,100,537	医業収益	14,917,598
給与費	9,890,247	入院収益	10,744,889
材料費	3,235,480	外来収益	3,804,328
経費	2,127,182	その他医業収益	368,381
減価償却費	1,803,127		
資産減耗費	5,853		
研究研修費	38,648	医業外収益	3,611,595
医業外費用	1,363,088	受取利息配当金	672
支払利息及び企業債取扱諸費	1,031,859	他会計補助金	799,708
繰延勘定償却	64,136	補助金	71,217
患者外給食材料費	1,661	負担金	2,655,770
雑損失	265,432	その他医業外収益	84,228
当年度費用合計	18,463,625	特別利益	21,406
当年度純利益	86,974		
合 計	18,550,599	合 計	18,550,599

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

図30 損益計算書<P/L> (平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位：千円、%〔構成比〕)

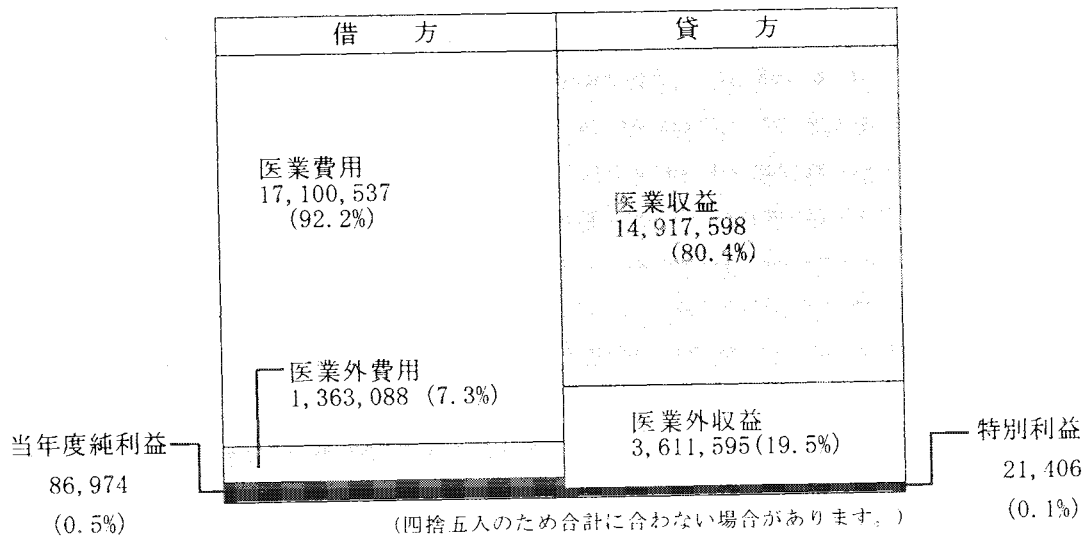


図31 貸借対照表<B/S> (平成14年3月31日現在)

(単位：千円、%〔構成比〕)

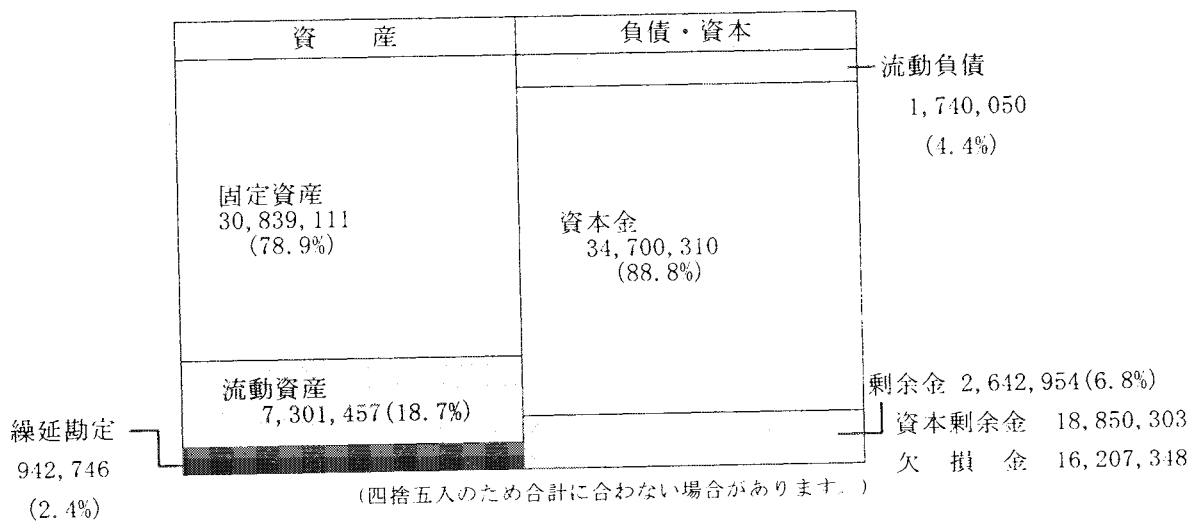


図32 年度別の総収益・総費用の推移

